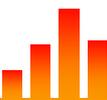


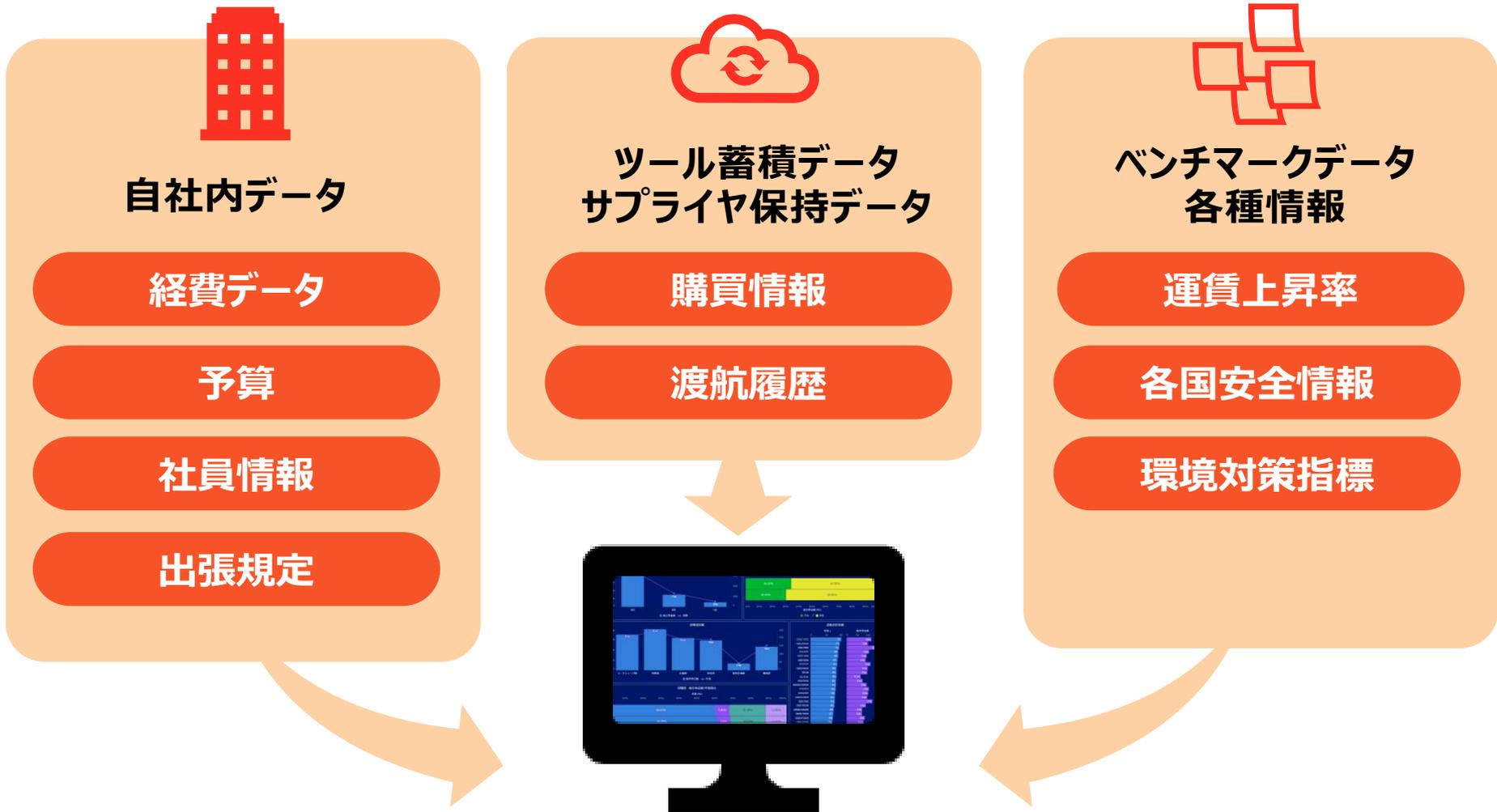
Data value creator
TOPREP EYE



出張に関する課題解決の近道を導く新しい可視化ツール

TOPREP EYE とは

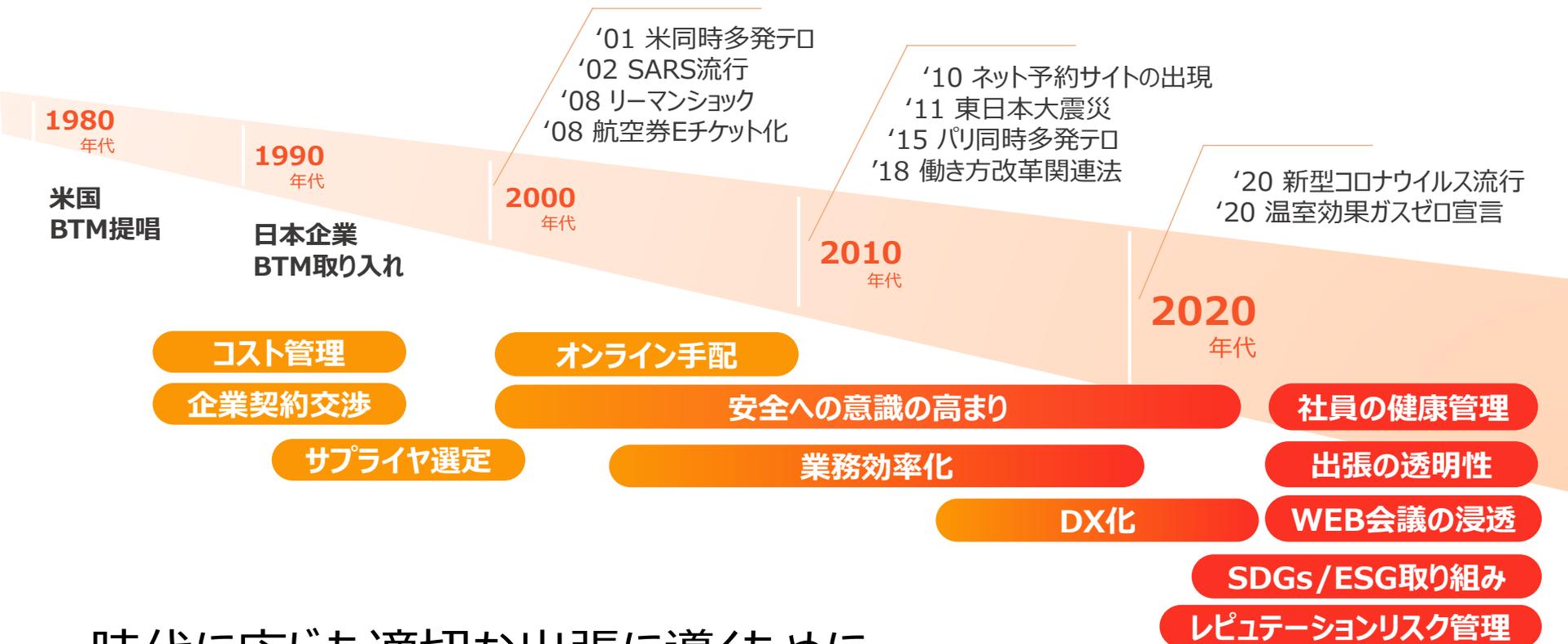
—出張管理に取り組む企業様のためのBIツールです—



分散していたデータの集約・より詳細な現状の可視化・KPI指標の設定をスムーズにし、課題解決への洞察を深め、活動状況や行動変化などをモニタリングできます

出張環境を取り巻く変化

—なぜ今データの可視化が必要なのか—



時代に応じた適切な出張に導くために

世の中の動きやトレンドに合わせ、出張の在り方も年々変化してきました。

そして今、また出張を取り巻く環境に大きな変革が起きています。

出張をより効率的かつ意味のある営業活動にする為に、購買コストにフォーカスするだけでなく、

出張全般にわたる多角的なデータの可視化を始め、適切な管理の方向性を定める必要があります。

TOPREP EYE が選ばれる理由 1



分析範囲の深さと深度

適切な出張管理に向けた第1歩は、出張関連の支出、行動、情報を体系的に集約することから始まります。

しかし、予約方法、予約ツール、利用業者などが多岐に渡ることから、散在するデータを集約すること自体に大きな課題を抱える企業が多いことも事実です。



データを集約 & クレンジングするための
データコンサルティングができるのはTOPREP EYEの強み。

出張手配の利便性と担当者の業務効率の両方を損なうことなく、分析に最適な形でデータを集約することが可能です。
BIツールに合わせて予約手段や旅行代理店などの
サプライヤを変える必要はありません。

TOPREP EYE が選ばれる理由 2



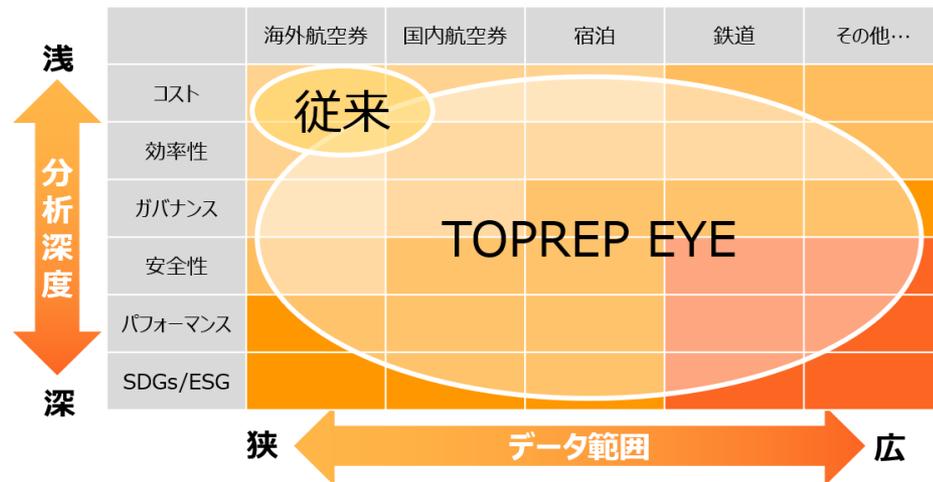
分析範囲の深さと深度

旅行会社型BTM・サプライヤの提供する従来型のデータマネジメントでは、自社手配分のデータしか集約できなかったり、海外航空券コストに特化した一部分の可視化しかできない傾向にあります。

また、一般的なBIツールを導入し自社でデータを集積・分析を行う場合、設定担当者に旅費や出張管理に関する専門的知識が必要となり、導入後に苦労するケースも多いようです。

TOPREP EYEでは、
管理すべき要素をより広く・より深く集約し、
出張管理のコンサルタントと共に課題に合わせた
可視化スタイルを構築できるため、これらの悩みを
改善します。

今まで未知の領域であった運用状況を多角的に可視化し、
最適な出張を持続することが可能になります。



TOPREP EYE が選ばれる理由 3



専門性と客観性

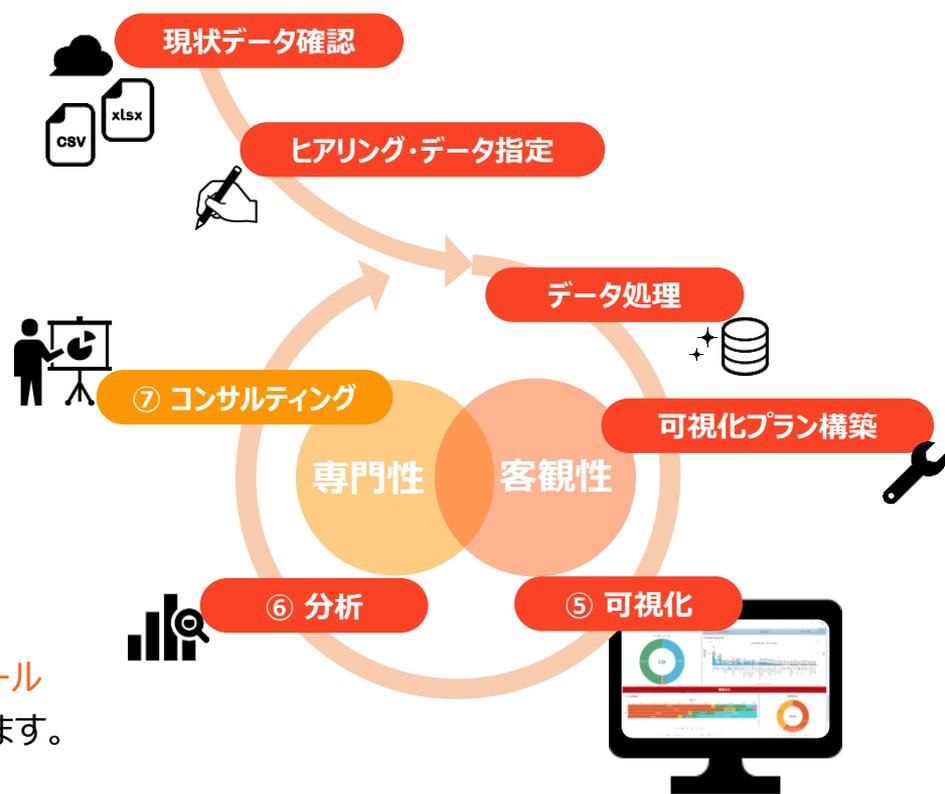
BIツールはデータをわかりやすくグラフ化、ビジュアライズしてくれるツールですが、有効活用するためには、可視化されたデータから「評価ポイント」や「問題点」にいかに着目できるか、そして改善にむけた策を導き出すことが必要となってきます。

出張の適正化のためには、専門知識を駆使しながらあるべき姿への道筋を見定め、KPIを設定し、そのための新しい管理・運用体制を構築していくことになります。

TOPREP EYEをご利用いただいた場合には、出張専門コンサルタントが公平公正な視点で分析をサポート。

ベンチマークデータ、業界動向、最新情報などと出張現状を照らし合わせ出張傾向を深く把握したうえで課題解決のための近道を示します。

出張領域において、**専門性×客観性**を持つ日本唯一のBIツールとして、データバリューを提供し貴社の出張管理をバックアップします。



これからの出張管理で重要な可視化ポイント

TOPREP EYE活用シーンのご紹介

出張コスト

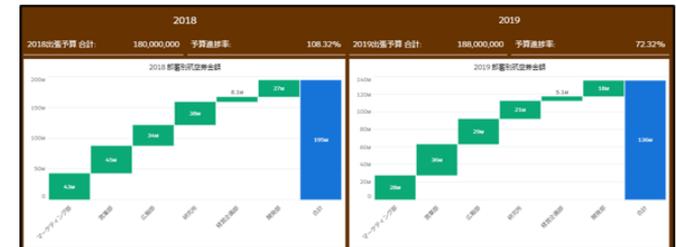
コスト削減余地の確認

実際の購買状況を確認し、どこに無駄や改善の余地があるかを見極め、コスト削減に向けた対策を練ることができます。また、施策の実行段階においては、その内容に無理が生じていないか、業界現状とマッチしているかモニタリングし、コストの適正化を図ります。



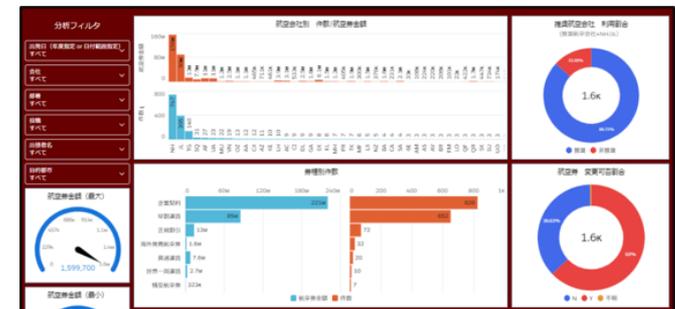
予実管理

出張費は世界情勢や経営方針によって、年度ごとに件数や金額が大きく変化するため、間接費の中でも予算のコントロールが難しい費用です。無駄のない経営活動の改善のために、年度ごとに編成した出張予算に対して、実際にどれだけの費用が使われているのかを、月ごと・部署ごとなど観点を選択し、コストの増減の理由も深掘りしながら追っていくことができます。



調達部門の実績管理

同じ渡航先であっても、利用する航空会社やホテル、購買タイミング、購買ルート、座席クラスやルームタイプによって価格が変わるのが出張費の特徴です。TOPREP EYEでは今まで分散されていた購買実績データを一元管理し傾向を把握。その後、サプライヤとの契約交渉時の資料作成、社内の購買プロセスの見直しなどにデータを有効活用いただけます。購買・調達部門の業務効率化にも役立ちます。



これからの出張管理で重要な可視化ポイント

TOPREP EYE活用シーンのご紹介



安心・安全

入国制限情報の確認

渡航歴のある国や、指定の地域の最新入国制限情報のデータベースを登録することで、専門機関の情報と社内で設定した安全基準を取り入れた全社統一の出張可否判断を行うことができます。

最新渡航関連情報は、提携している出張安全管理専門デスクのデータベースを利用することも可能です。



SDGs・ESGへの取り組み

CO₂排出量の確認

国を上げて目標が掲げられている「持続可能な社会」を作り上げる活動に寄与するために必要なものの一つとして「環境保全」に対する取り組みが挙げられます。

出張活動では移動や宿泊においてCO₂・温室効果ガスが多く排出されることから、その量がどれくらいなのかを算出し、削減のための取り組み結果の指標として利用します。



これからの出張管理で重要な可視化ポイント

TOPREP EYE活用シーンのご紹介



ガバナンス

各部門での予算管理/規定遵守状況可視化

不正出張や、部署単位での無理な出張命令の発生を抑止するために、社員の出張規定（出張ガイドライン）遵守状況をモニタリングし、その結果や傾向を分析することができます。

部門ごと、役職ごと等にレイヤーを分けて閲覧することも可能なため、夫々の役割に特化してデータをドリルダウンすることで、課題点をピンポイントで可視化し、解決のアクションへ導くことが可能です。

可視化ポイント

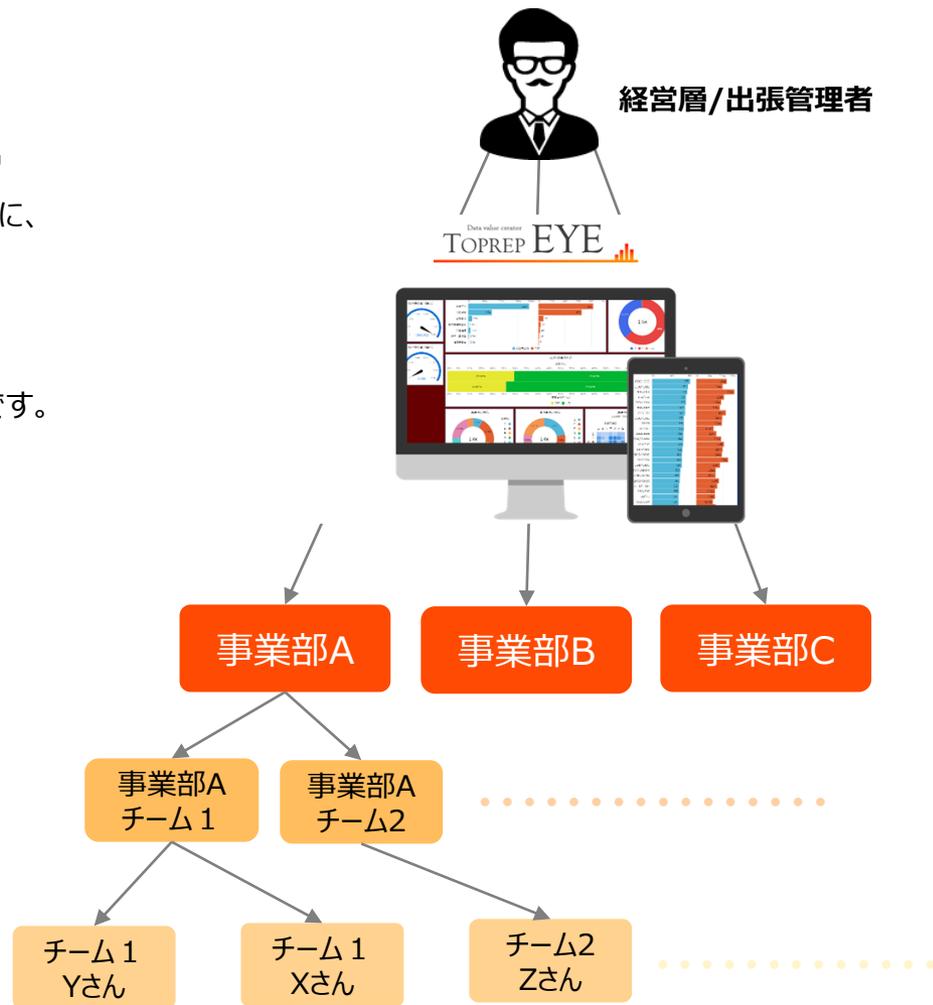
- コスト増要因の路線
- オンライン手配利用状況
- 部門/出張者名レイヤーでの実績・規定遵守状況

等

ガバナンス強化のアクション

- 部門/プロジェクトごとのコスト削減余地のアピール
- 他部門との比較
- 手配方法別（オンライン/オフライン）の統制力の可視化

等



画面イメージ



専用ページログイン画面

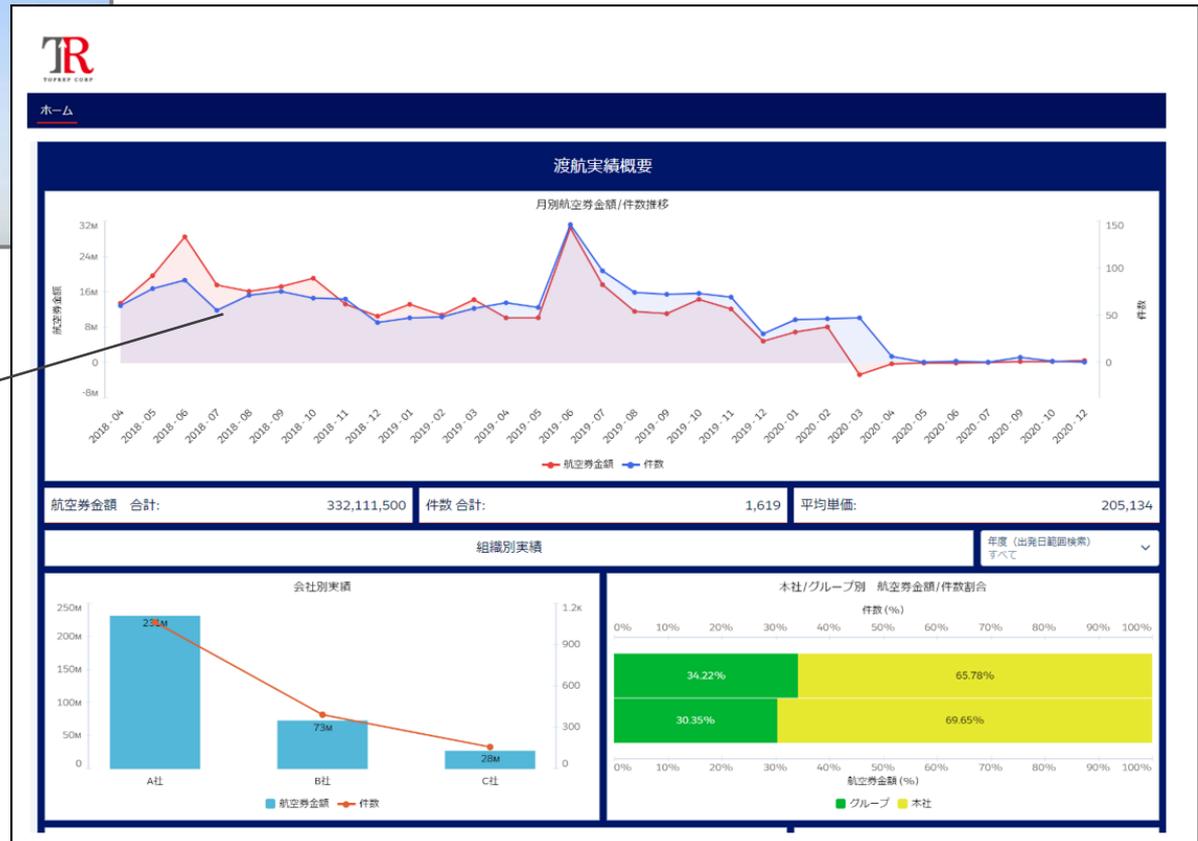
貴社専用ページをご用意。
インターネット環境があればいつでも確認可能です。
(パソコン、タブレット対応)

必要データを組み合わせた カスタマイズが可能

課題や目的に応じ、企業ごとにカスタマイズされたデータを表示。

グラフの1箇所を指定すると、瞬時にすべてのグラフが指定に応じた結果に切り替わり、詳細を確認することができます。

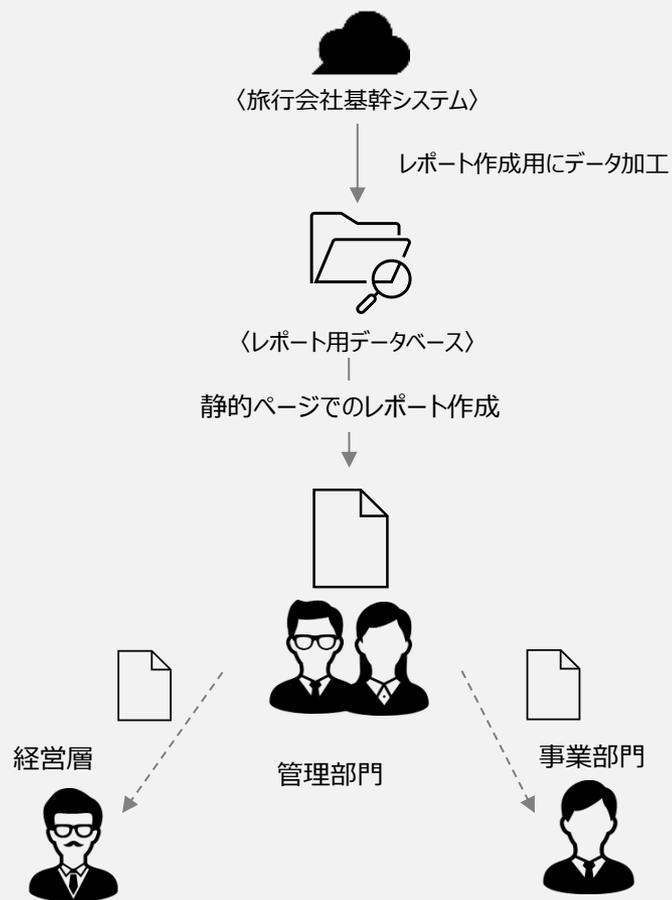
すべてのデータが連動しているため、そのとき見たいデータの詳細を深掘りして確認できます。



◆ 詳しい画面もご覧いただけます ◆

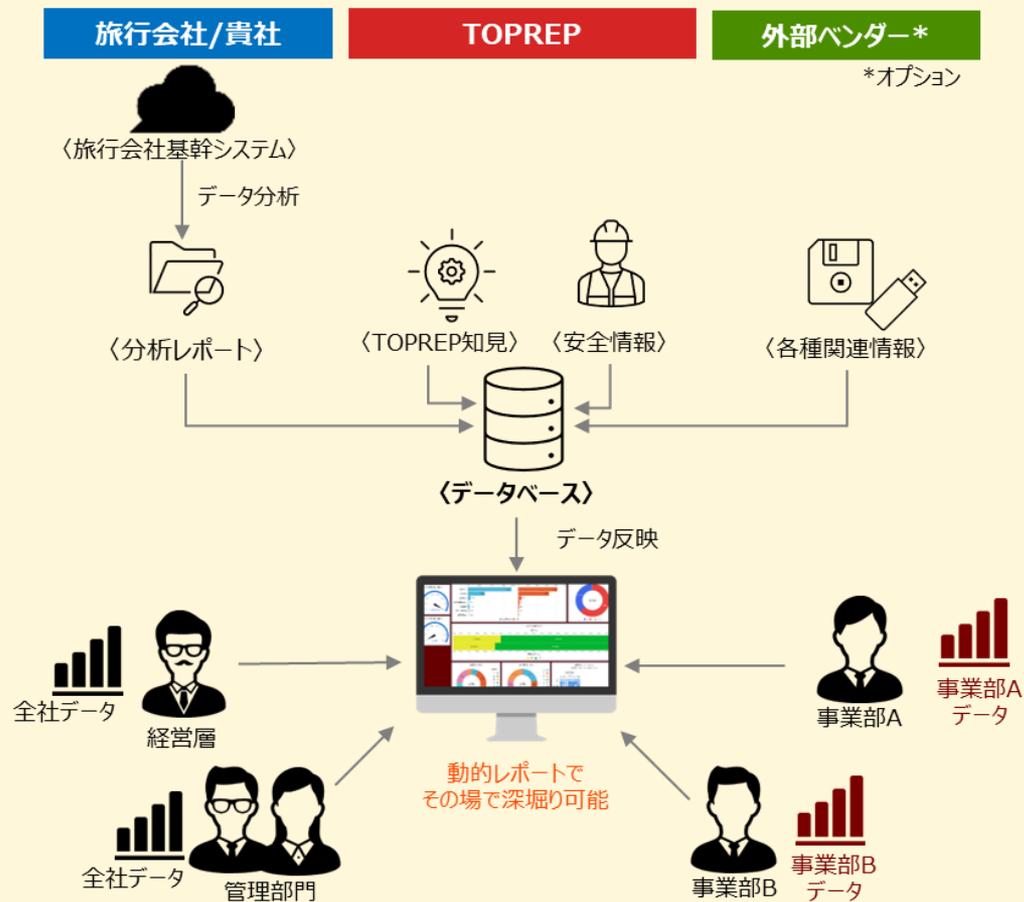
レポートニングの流れ

従来のレポート



レポート掲載内容からデータの背景について想定し
ネクストアクションを検討(適宜、深堀りレポートの追加作成)

Data value creator TOPREP EYE



ピンポイントで課題を可視化して効果的なアクションにつなぐ

データ分析例



分析単位

- 【データ単位】
- 全体実績
 - 会社毎実績
 - ベンチマークデータ
- 【比較単位】
- 自社前年実績比
 - ベンチマーク比

実績検証 (一例)

- 【検証内容】
- 目標達成率
 - コストセーブ進捗
 - 値段
 - 高い部分
 - 安い部分
- ↓
- ドリルダウン
- 部署毎
 - 国別
 - 都市別
 - 航空会社別
 - クラス別
- 【測定方法】
- 平均単価
 - マイルコスト
 - …他

原因追求

- 料金決定の理由
- 高い理由
 - 安い理由
- ↓
- 【分析視点】
- 利用券種
 - 予約タイミング
 - 発券タイミング
 - 変更可否
 - リーズンコード
 - ロスト金額
 - (ポテンシャルセービング)
 - 変更回数
 - 初動日分析

ソリューション

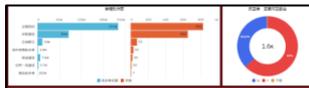
- 各種コンサルティング
- ・旅行代理店選定
 - ・オンラインシステム導入
 - ・オンラインシステム運用
 - ・出張規定改定
 - ・購買フロー作成
 - ・契約交渉
 - ・リスク管理
 - ・データ集約・管理
 - ・安全全管理支援
 - ・SDGs/ESG支援
 - ・サステナブルビジネスストラベル支援等

データ (一例)

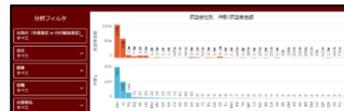
【推移・進捗管理】 -航空券利用実績



【シェア・比較検証】 -利用クラス・券種利用割合



-航空会社 利用内訳



-部署別・役職別 利用額



-予約タイミング



これらのデータはすべて連動しているため、その時見たい項目の詳細を同画面上でより深掘りして確認できるようになります

導入までの流れ



*スケジュールはデータの管理状況や管理内容に応じて変動する可能性があります。

その他



セキュリティ

トップレップ「情報セキュリティ基本方針」に関しましては、こちらをご覧ください。

<https://www.toprep.co.jp/security/>

推奨動作環境

- MICROSOFT® EDGE 最新安定バージョン
- GOOGLE CHROME™ 最新安定バージョン
- MOZILLA® FIREFOX® 最新安定バージョン
- APPLE® SAFARI® 12.x+

お問合せ先



株式会社トップレップ®

〒105-0013 東京都港区浜松町2-6-2 浜松町262ビル

<https://www.toprep.co.jp/>

TEL 03-6635-6610 (月-金 9:00-17:00)

Email info@toprep.co.jp